

「北海道市場化テスト」の基本的考え方

◆制度導入の理由

- ・なぜ取り組むのか

- 「民間開放推進計画」の推進ツール

- 計画目標「5年間で3,500人相当業務の民間開放」を達成するため市場化テストを活用。

- ・庁内外への動機付け

- 各担当部の現実的メリット

- 対象業務に総務部のお墨付き（支援）を与えることで、予算要求・人事（機構改正）・対組合交渉を円滑化。

- ビジネスチャンスと共に考える

- 民間提案受付時に企業からの相談に対応。

◆制度の特徴

- ・従来の手法（民間開放）との使い分け

- 提案型アウトソーシングシステム

- 民間の視点・外圧を活用した業務の見直し・民間開放の加速。

- ・制度の有効性

- “官民競争入札”を留保しつつ各部に働きかけ

- 特に抵抗の強い現業職の民間開放に有効ではないか

◆今後の方向性

- ・第三者機関の最大限活用

- 共通課題の解決

- 人材派遣の問題点（安かろう悪かろう）への処方箋

- トップの意向との連動

- 知事の政策等と連動させ影響力強化

- ・地域経済活性化への寄与

- 受け皿の育成

- アウトソーシングを通じ官依存体質の改革

「北海道市場化テスト」の実施

改革工程表

H18年度：制度設計(モデル事業の検討)

H19年度～：制度導入

